

# 支部紹介

## 遠軽支部



### 支部長挨拶

皆さまこんにちは、遠軽支部の多間康夫です。

日頃より北海道薬剤師会の役員、事務局の皆さまには、大変お世話になっております。

支部の会員の皆様にも、いろいろとお願い事ばかりで申し訳ございません。

遠軽支部は、オホーツク海に面した紋別市・遠軽町を中心に雄武町・興部町・滝上町・湧別町・佐呂間町・上湧別町・西興部村といった市町村で構成されています。

まず、遠軽支部の会員数ですが、A会員21名、B会員35名、合計56名(令和5年11月現在)で、そのうちチェーン薬局の薬剤師は34名、勤務薬剤師は14名、他は、個人薬局の8名で、チェーン薬局の占める割合が非常に多い支部です。この遠軽支部地域は、東京都の2倍以上の面積で人口約65,000人、病院は9件と非常に医療資源の乏しい地域で



す。紋別市内の高齢者の受け皿は必ずしも十分ではありません。仮に今ある施設がやめたりしたら、地域全体の医療や介護が崩壊する懸念があります。遠軽支部としても今後の在宅医療の基盤づくりを早急に進めていかなければいけません。

現在、医療法人みなとクリニックの副院長の横山豊先生が、在宅療養支援診療所の届出をしており終末期医療も含め、在宅医療に積極的に取り組もうとしております。

KISA 2 隊(2021年2月に京都で発足した在宅支援の若手医師連合)北海道を立ち上げ、令和6年4月より本格的に在宅医療を進めていくとのことです。

薬剤師会としても在宅に関する勉強会を積極的に進めているところであります。

特に麻薬注射、PCAポンプ等の説明会を多職種の方たちと一緒に取り組んでおります。

薬局薬剤師の無菌調剤の実習も進めており、クリーンベンチの配備も同時に進めてまいります。

どこの調剤薬局でも在宅指示の院外処方箋(麻薬注射を含む)を応需できる体制を整備していきます。

今後は、地域医療継続のため多職種連携を中心に活動して参ります。是非とも賛同していただける薬剤師の先生がおりましたら、手上げて下さい。

もう一つ遠軽支部には、大きな課題があります。次世代の薬剤師会を担う若手薬剤師が非常に少ないことです。今後、支部を支えていく人材も育てていく必要があります。

私も65歳を超え、さすがにこの歳には勝てず、そろそろ次期支部長候補も検討していかなければいけません。役員会、研修会等を通じてお願いし



遠軽厚生病院



広域紋別病院

ているところでもあります。

以上で遠軽支部としての在宅を中心とした取り組みと若手育成を今後の活動方針とさせていただきます。

これからは遠軽支部の高橋先生(支部編集委員)の支部紹介です。

重複している部分もありますが、どうぞ参考にして下さい。

## 支部紹介

オホーツク海に面した遠軽町・紋別市を中心に、雄武町・興部町・西興部村・滝上町・湧別町・上湧別町・佐呂間町といった市町村で構成されている支部です。こう見ると規模が大きく感じますが、実際は会員数56名という小さな支部であります。会員数が少ない上に、医療関係者の高齢化も今後気になっていくところでもあります。

活動内容としましては、年に数回、研修会を行っているくらいで正直立派な活動をしている感じではありません。先程申しましたが、地理的には広範囲の為、全会員が一つに集まる機会が少なく、遠軽・紋別に分かれて行う研修会が主な活動となっております。

私は紋別市の人間なので、紋別市についての話が多くなりますが、2023年10月1日、西紋地区と呼ばれる、紋別市・興部町・雄武町・西興部村・滝上町の5市町村にある医療機関にて、道内では3例目となる「オホーツク西紋医療ケアネットワーク」が発足されました。

この地域の医療状況は極めて厳しく、参加法人間で知恵を集結し、人材が不足した場合の人的支援や在籍出向を通じた人材交流、大型医療機器を有する医療機関への検査委託などが容易となるもので、医療機能の分担及び連携強化により、健康と



岸辺の丸い流水

福祉など、地域医療の向上発展が期待されます。中でも、高齢化のために急務となっている在宅・訪問医療の強化体制を発展するために、あまりこの地区では行われていない医療用麻薬の無菌調剤を薬局でも積極的に行えるよう、研修会が開催されているところでもあります。薬局に無菌調剤が出来る環境がないというのも今後の課題です。地区の医療関係者と協力しあい、課題を補っていくことが今後期待されます。

そんな遠軽支部は自慢したくなる穴場・グルメがたくさんございます。



紋別は、テレビでもよく紹介されていますが、紋別市はふるさと納税ランキングが常に上位で返礼品も紋別の名産品である毛ガニ・ホタテの貝柱・乳製品は世界にも自慢が出来る品質だと思っています。その他に本物の流水も返礼品としてもらえるそうですよ。冬は雄大な流水、アザラシの保護



流水



流水観光船ガリンコ号

活動をしているとっかりセンターではアザラシの写真がSNSで紹介され、大人気になり、観光客も増えています。紋別市にドカンと鎮座しているカニの爪のオブジェは、既に紋別市のアイコンになっております。

遠軽町は町のシンボルと言える約78メートルもある願望岩が町のシンボルであり、令和元年には道の駅遠軽・森のオホーツクがオープン。スキー場に併設し、温泉も楽しめる施設です。秋には日本最大級のコスモス園である、虹の広場があります。様々な種類のコスモスが楽しめます。

他にも雄武町も毛ガニが有名で、全国に出荷されてますね。冬はサロマ町の真牡蠣(11月～2月ころ)、滝上町の芝ざくら(5～6月)、中湧別町のチューリップ(5月中頃)、丸瀬布市街の藤棚(6月上旬～中旬)などがあります。興部町のチーズは私も大好きで、高級レストランでも使用される自慢の一品。ぜひ立ち寄った際には召し上がっていただきたいです。挙げていけばキリないくらい自然と名産品にあふれた場所です。

オホーツクの魅力と地域医療の必要性を感じ取っていただき、皆さんの知恵をお借りし、よりよい支部になっていけたら幸いです。



カニの爪(オブジェ)



藤棚(まるせっぷ藤園)

**遠軽支部の連絡先**

〒094-0015 紋別市花園町4丁目7番7号  
 紋別たま薬局内  
 TEL : 0158-28-5110 FAX : 0158-28-5111

**2023年度 日薬共済部 加入者募集**

“1ヵ月200円”で会員たがいのたすけ合い

◎現在の事業内容

慶弔見舞金の支給  
 部員本人の死亡 弔慰金 5万円  
 部員の配偶者死亡 配偶者弔慰金 2万円  
 災害被災者  
 全 焼 火災見舞金 10万円  
 部分焼 ” 審議のうえ決定  
 風水害等の被災者 災害見舞金 2千円～5万円

◎部 費

共済部の部費は、加入申し込みの際に1年分を納めていただきます。  
 (2023年4月1日～2024年3月31日)  
 新規加入部費 年間 2,400円  
 継続加入部費 年間 2,000円  
 ※中途加入のお申込みは、新規加入になります。

◎加入のお申込み・お問い合わせは、北海道薬剤師会事務局管理課へ。